



平成24年度 学校だより (NO.504)



# くぬぎ台小

## 卒業前特別号

平成25年3月15日刊  
横浜市立くぬぎ台小学校

ホームページへようこそ！ [くぬぎ台](#) → [検索](#) 昨日までのお客様 = 23,560人



### GIVE ME FIVE

校長 藤井 芳樹

ご存知、AKB48のヒット曲です。ギブミーファイブです。日本語では、「ハイタッチ」と訳されているようです。お互いにジャンプし合って、頭の上で手をたたき合い、喜びを分かち合う動作です。英語では「手の平を私に下さい。」ということになるのでしょうか。

お互いの喜びを分かち合う動作なのに、日本では高さを大切にした表現で有り、アメリカでは手と手を合わせることの大切さを表現しているのは興味深いことです。

いよいよ、明日、横浜市立くぬぎ台小学校での最後の卒業証書授与式が開催されます。

創立より40回を重ねてきた本校の卒業式もこの41回を最後に幕を下ろすことになりません。先の2月23日に開催した大同窓会では、

第一回目・第二回目の卒業式は、手も震えてしまう程寒い校庭で開催されたと同じでした。

41回目の天気はどうでしょうか。素晴らしい卒業式になるよう、今日まで全校で取り組んできた成果をご覧に入られると自負しております。

卒業する22名の少年少女達に、ギブミーファイブの歌詞を贈ります。

友よ、思い出より輝いてる  
明日を信じよう。  
そう、卒業とは  
出口じゃなく入り口だろ。  
友よ、それぞれの道、すすむだけだ。  
サヨナラを言うな、また、すぐに会える。  
だから、今はハイタッチしよう。

一生懸命 一秒  
(セイコーCFより)

一秒の言葉

「はじめまして」  
この一秒ほどの短い言葉に  
一生のときめきを感じる時がある

「ありがとう」  
この一秒ほどの短い言葉に  
人の優しさを知ることがある

「がんばって」  
この一秒ほどの短い言葉で  
勇気がよみがえってくる時がある

「おめでとう」  
この一秒ほどの短い言葉で  
幸せにあふれる時がある

「ごめんなさい」  
この一秒ほどの短い言葉に  
人の弱さを見ることがある

「さようなら」  
この一秒ほどの短い言葉が  
一生のわかれになる時がある

一秒に喜び 一秒に泣く

一秒の言葉

4月～7月

# 22人で全校を引っ張るんだぞ！



10人の  
新入生、  
私たち、22人の  
6年生が  
守ります。



雨の日光も  
晴れの日光も  
充分に  
楽しみました。



プロの  
選手と  
記念写真を  
撮りました。



8月～12月

# 6年生の自覚と実力がついてきたよ！



一瞬の  
晴れ間に  
金環日食が。



どの行事も、  
努力したよね。  
だから、  
大成功したんだよね。



1月～3月

# 悔いなく、やり遂げた一年間だったね。



思い出づくりをいっぱいした  
一年間だったね。



みんな、  
いつまでも  
友だちだよ！



ご紹介します。

これが私の卒業文集の題名です。

健康委員会での  
思い出  
大塚真琴

日光修学旅行  
奥野裕理

日本に来て  
楽しかったこと  
アイシャ サリム

楽しかった  
運動会  
蝦名七海

仲良くなれた  
喜び  
小林美結

一年生といろいろ  
あった一年間  
古明地彩那

日光修学旅行  
坂本大地

体育大会の  
走りはばとび  
白石 碧

思い出に残る  
最後のリレー  
田口聖和

私の好きな人  
西ひめ子

日産スタジアム  
西原咲綺

全校遠足  
野本翼樹

修学旅行の  
思い出  
林 健太

一年生と遊んだ  
思い出  
本田万里愛

運動会  
増田聖夏

日光修学旅行  
松本壮太

赤組の旗  
宮川優菜

修学旅行の  
思い出  
宮崎一牛

お母さんの言う  
事は正しい  
山田麗香

忘れられない最後の  
ふれあいミュージック  
山本千紘

## ご卒業を明日に控えたご家族の皆さまへ

、いよいよ3月16日(土)、明日が卒業式ですね。このくぬぎ台小学校で過ごしたそれぞれの子どもたちの日々は、それぞれに思い出多い、そして有意義な日々だったと信じたいと思います。

卒業式を前にした今日、これからどんな時を過ごしますか。お食事に行く家庭、家でゆっくりと過ごす家庭、お仕事でゆっくりできない家庭、それぞれの考え方と家の都合でこの日を過ごしていच्छやと思います。

でも、ほんの少しの時間で結構です、この一年間この六年間のさまざまな出来事を、明日、卒業していく子どもと語り合える時間がとれたらいいなと思います。そして、卒業式ではしっかり顔を上げ前を向いて歩くこと、自分の名前を呼ばれたら卒業していく夢一杯の気持ちと同じくらい大きな響き渡る声で「はい。」と返事をする、それが家族が最も我が子を誇らしく思う時であることを伝えて欲しいと思います。

まるで、新しい年を迎える大晦日のように胸が躍ると同時に、中学校という見知らぬ世界にこれから入っていく期待と不安を抱えながら、子どもたちは今晚どんな夢をみるのでしょうか。この地を飛び立ち空を駆けめぐる白鳥のように、自由に空翔る夢を見るのでしょうか。

最後になりましたが、ご家族の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます(一日早いですが)。この場をお借りして、これまでの本校の教育活動へのご理解ご協力にお礼を申し上げます。